

セットアップマニュアル

BrainBoard

MultiSync[®] LCD-CB653

MultiSync[®] LCD-CB753

目次

安全のために必ず守ること	1
ご使用の前に	9
付属品	10
設置	12
商標・ライセンスについて	17
本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）	18
ご使用方法についてのご相談	18
保証とアフターサービス	19

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書に記載されている画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
- (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項および（4）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (6) 本書はすべての地域に共通して提供されるため、他の国に関する記載を含む場合があります。

安全のために必ず守ること

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。

	この記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。
	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

 プラグを抜く	下記の場合、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く ・ 本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合 ・ 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合 販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
 分解禁止	裏ぶたを外さない、修理・改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。修理は販売店にご相談ください。
 使用禁止	ぐらついたり、スタンドにひびがある場合は近づかない 本機が転倒してけがの原因となります。お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。
電源コードについて	
 禁止	電源コードを傷つけない、加工しない ・ 電源コードを本機や重い物の下敷きにしない。 ・ 電源コードを敷物などで覆わない。 ・ 電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない。 ・ 電源コードを加熱しない。 電源コードが破損すると、火災・感電の原因となります。 破損した場合（芯線の露出・断線など）は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。
 接触禁止	雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない 感電の原因となります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
 指示	電源コードは添付のものを使用する 添付の電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。

⚠ 警告

 指示	正しい電源電圧で使用する 添付の電源コードは AC100V・日本国内専用です。 指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
 禁止	アース線を電源コンセントに挿入・接触させない 火災・感電の原因となります。
 アース線を 接続せよ	アースに接続する - 本機はアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。 - 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。
 指示	据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する 工事が不完全ですと重大事故の原因となります。
 指示	設置するときに気を付けること スタンドなどの取り付け器具が必要です。 運搬、移動、設置の際は十分な安全を確保できる人数（必ず 4 人以上）で作業し、必ずすべてのハンドルを持ってください。落下してけがの原因となることがあります。 布などで通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。 以下の場所には設置しないでください。 - 風通しや換気の悪い所 - 直射日光のあたる所や熱器具のそば - 振動の多い所 - 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所 - 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所 - 屋外 - 温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい所 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。 そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

警告



指示

- 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない所荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受け、確実に取り付けてください。強度が不十分な場合、落下して重大事故の原因となることがあります。
- 人が容易にぶら下がったり、寄りかけられるような場所、頭や目がぶつかってしまうような所。
上下逆さまに設置しないでください。



指示

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどを軽減するために、転倒・落下防止対策を講じる

取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの軽減を意図したのですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

- 本機を固定する。スタンドによっては転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。
- 落下防止用ワイヤーのみでは絶対に壁掛け設置・天吊り設置しない。
- 建物や構造物の丈夫な個所に市販のフックや金具を取り付け、本機の所定の箇所との間を市販の落下防止ワイヤーで接続する。
- 市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用する。
- 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置する。

安定性と危険について

本機が落下すると重大事故の原因となることがあります。けがなどを軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。

- 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付ける。
- 本機を安全に支えることができる什器に設置する。
- 本機がはみださない大きさの什器に設置する。
- 本機にさわろうとして設置している什器に登ったりすると危険であることをお子様に説明する。
- 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線する。
- 本機を不安定な場所に設置しない。
- 本機を背の高い什器に設置する場合は、本機と什器、什器と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定する。
- 本機の下に布などを敷かない。
- 本機や設置している什器の上に、お子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かない。

設置場所を変える場合は、上記をふまえて設置してください。

⚠ 警告

 禁止	ぐらつく台の上や、傾斜面、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
 禁止	異物をいれない 火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。 異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
 水ぬれ禁止	水のかかるところに置かない 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。 エアコン等水を排出する機器にも注意してください。
 禁止	清掃時に可燃性ガスのスプレーを使用しない 火災の原因となります。
 指示	拡張ボード(OPS)をしっかり固定する 拡張ボード(OPS)は、拡張スロット(OPS)カバーを固定しているネジを使用し、しっかりと固定してください。固定しないと、落下して重大事故の原因となります。
 禁止	生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

⚠ 注意

電源コードについて

 指示	電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する
 しっかり 差し込む	電源プラグを奥までさしこむ 電源コードが容易に抜けるのを防止する 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。 電源コードが抜けるのを防止するため、本機付属のケーブルクランプで固定してください。
 指示	火災や感電を防ぐために、次のことを守る - 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 - お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 - 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめる。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 ほこりを取る	電源プラグのほこりなどは定期的にする 火災・感電の原因となることがあります。
 指示	電源コードやケーブル類を抜いてから移動する コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
 禁止	電源コードは、タコ足配線しない タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
 禁止	電源コードおよび USB ケーブルは束ねない（丸めない） ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。
 禁止	過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない（Wi-Fi モジュール装着時） LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

 禁止	本機を設置している台には乗らない 本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。
 指示	スタンドの取り付けや高さを調節する場合 本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。指定以外の位置では、転倒してけがの原因となることがあります。
 禁止	本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下からない 硬いものでこすったり、たたいたりしない 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。
 禁止	画面に衝撃を加えない 先のとがった物で押さない 破損してけがや故障の原因となることがあります。
 指示	乾電池は適切に取り扱う 乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂によるけがの原因となることがあります。 ・ 指定以外の電池を使用しない。 ・ 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。 ・ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池は種類によって特性が異なります。 ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。 新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液が漏れるおそれがあります。 ・ 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。 液が漏れて故障の原因となるおそれがあります。 漏れた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。 漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

 指示	・ 長時間使わないときは、電池を取り出す。 ・ 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。 破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。 ・ 乾電池を水の中に投入したり、器具での押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。 破裂のおそれがあります。 ・ 乾電池をショートや充電をしない。 ・ 乾電池を廃棄する際は、プラス（+）とマイナス（-）をセロハンテープで絶縁して廃棄する。 廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。
 禁止	本機の温度が高くなる部分に長時間触れない 低温やけどの原因となることがあります。
 指示	適度な明るさの環境で使用する 画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。
 禁止	ヘッドホンを着用したまま接続しない 音量によっては耳を傷める原因となることがあります。
 通気口の清掃	通気口を掃除する 通気口がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。月に一度は通気口を掃除してください。
 内部清掃	1年に一度は内部掃除を 内部にほこりがたまったらそのまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。
 指示	温度や湿度が急激に変化する環境での使用や保管は避ける 以下の使用環境・保管環境を守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。 使用環境温度： 0 ～ 40℃ / 湿度： 20 ～ 80%（結露のないこと） 保管環境温度： -20 ～ 60℃ / 湿度： 0 ～ 90%（結露のないこと）

ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI－B

お知らせ

VCCIに関するご説明文中で、「この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、」という記述をしておりますが、これは本機が VCCI クラス B というより厳しい基準に適合させていることから、協議会から指定された文章を記述したものであり、本機は住宅環境での使用を目的とはしておりません。

注意

添付のケーブルを使用してください。

HDMI、USB、VGA はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。
DisplayPort、USB Type-C、RS-232C はシールドタイプを使用してください。
これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気に関するガイドライン」に適合しています。



グリーンマーク

JIS C 0950（通称 J-Moss）とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況により、次の 2 種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク： 特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク： 同化学物質が含有率基準値以下（但し除外項目あり）である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<https://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

有線 LAN に関するご注意（Wi-Fiモジュール装着時）

本機の有線 LAN ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため有線 LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準に出荷時の設定で適合していると判断します。画質の設定や他の設定を変更すると基準に適合しません。

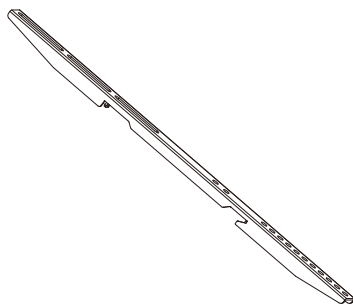
付属品

梱包箱 * に以下のものが含まれていることをご確認ください。

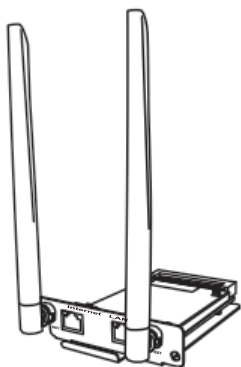
- 液晶ディスプレイ
- モニター背面取付金具 x 2 (製品に実装済)
- ネジ (M8 x 20 mm) x 4 (製品に実装済)
- 壁取付金具
- Wi-Fi モジュール
- アクセサリーボックス
 - 電源コード
 - HDMI ケーブル
 - USB ケーブル
 - USB Type-C ケーブル
 - Wi-Fi モジュール取付手順
 - リモコンおよび単 4 形乾電池 x 2
 - スタイラスペン x 2
 - 壁取付金具用ネジ類
 - ケーブルクランプ (両面テープ付き) x 2
 - 壁取付金具設置書



液晶ディスプレイ



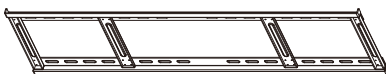
モニター背面取付金具 x 2
(製品に実装済)



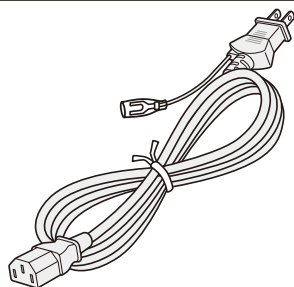
Wi-Fiモジュール



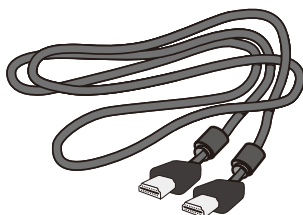
ネジ (M8 x 20 mm) x 4
(製品に実装済)



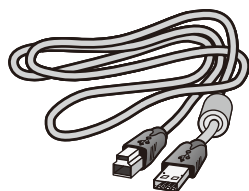
壁取付金具



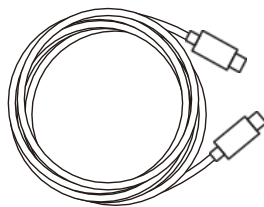
電源コード



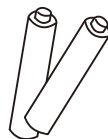
HDMIケーブル



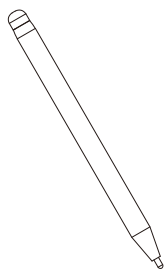
USBケーブル



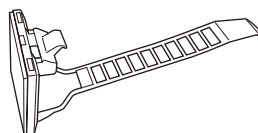
USB Type-Cケーブル



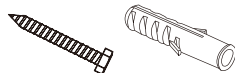
リモコンおよび
単4形乾電池 x 2



スタイラスペン x 2



ケーブルクランプ (両面テープ付き) x 2



x 8

x 8

壁取付金具用ネジ類



Wi-Fiモジュール取付手順



壁取付金具設置書

アクセサリーボックス

* 本機の移動、輸送時に備えて、梱包箱および緩衝材を保管しておいてください。

設置

設置の前に「安全のために必ず守ること」を必ずお読みください。
不適切な設置に起因する損傷は、保証書の対象範囲外です。

1. 設置する場所を決める

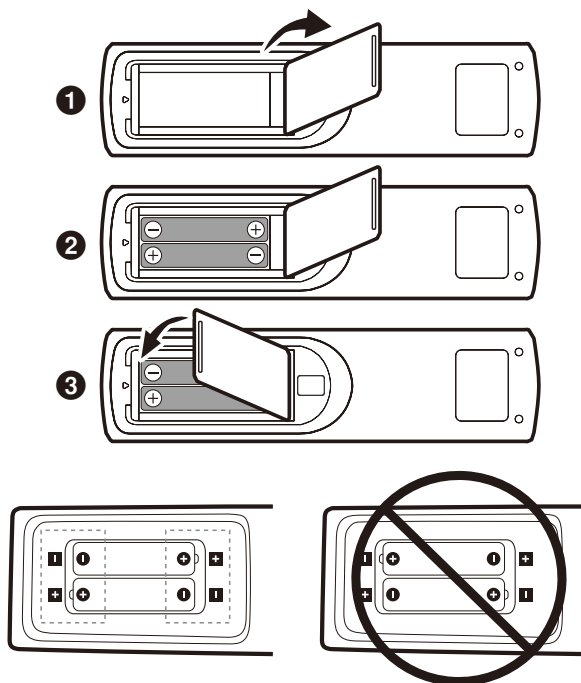
お願い

スタンドや取付金具などを取り付けるときは、液晶パネルに引っかき傷を付けないよう、本機の下にマットや毛布など柔らかいものを敷いてディスプレイを置いてください。

2. リモコンに電池を入れる

単 4 形乾電池 2 つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。



お願い

- ・リモコンに付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- ・長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。
- ・電池は、アルカリ乾電池を使用してください。

3. 外部機器を接続する

- コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

お願い

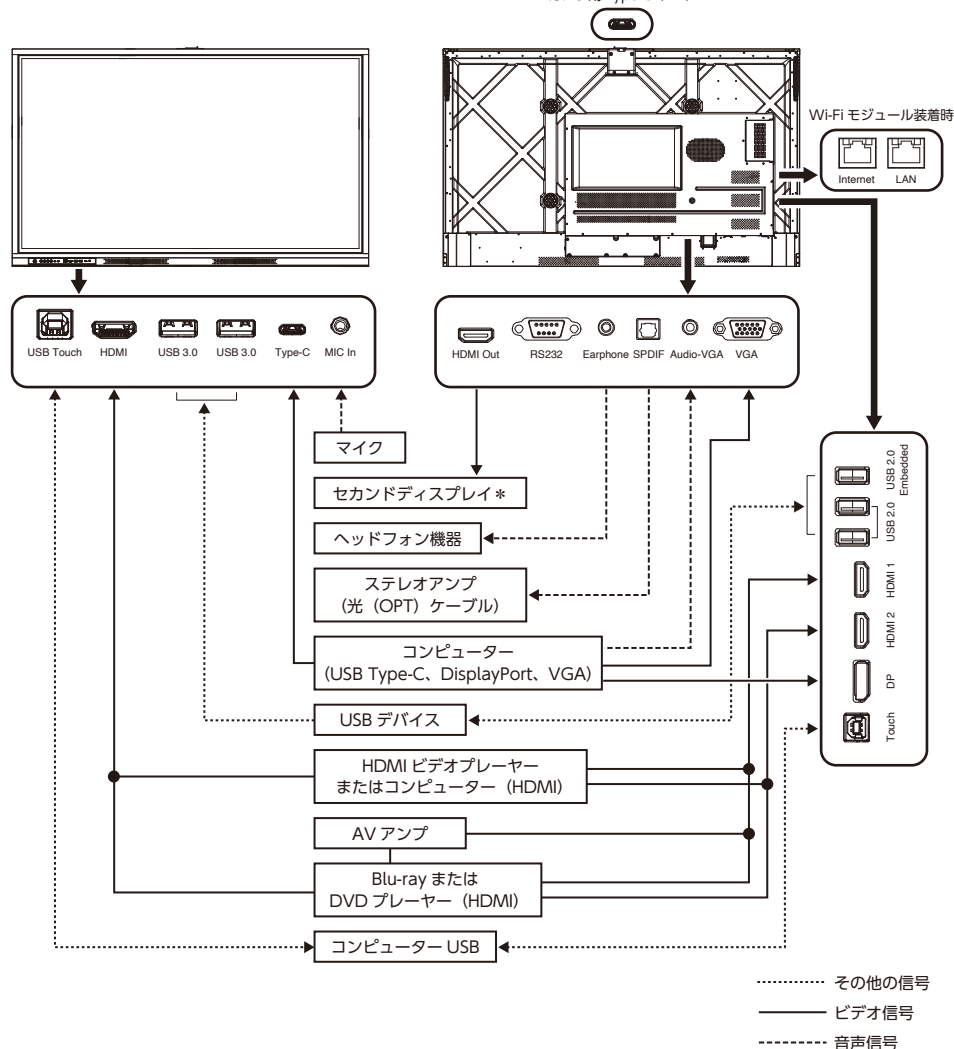
本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルを抜き差ししないでください。

ケーブル情報

添付のケーブルを使用してください。

HDMI、USB、VGA はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。
DisplayPort、USB Type-C、RS-232C はシールドタイプを使用してください。
これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

カメラ用 Type-C ポート

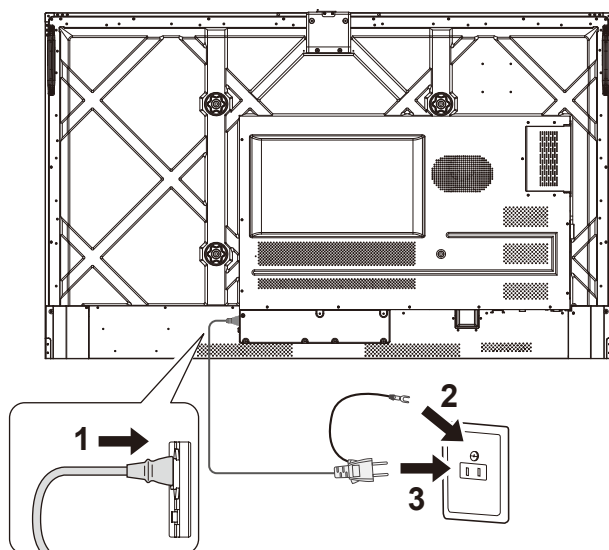


*: 複数のディスプレイをデージーチェーン接続する場合には、接続可能なディスプレイの数に制限があります。

4. 電源コードを接続する

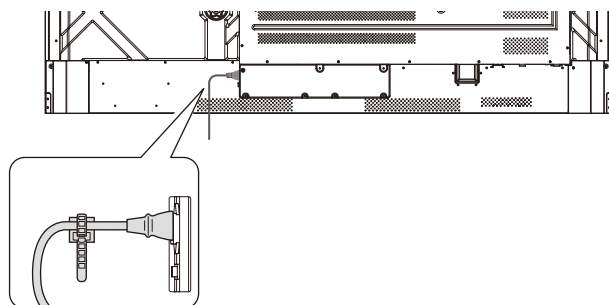
お願い

- 電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電力が供給されることを確認してください。本機の使用電力は、取扱説明書の「仕様」を参照ください。
 - 電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。
1. 電源コードの一方の端を、本体の電源入力コネクタに差し込む。
奥までしっかり差し込んでください。
 2. アース線を（アースに）接続。
 3. 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する。



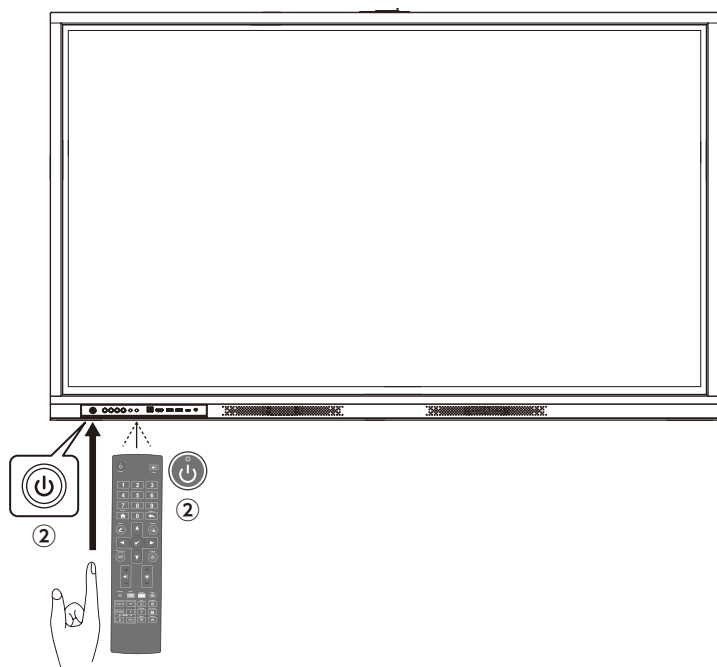
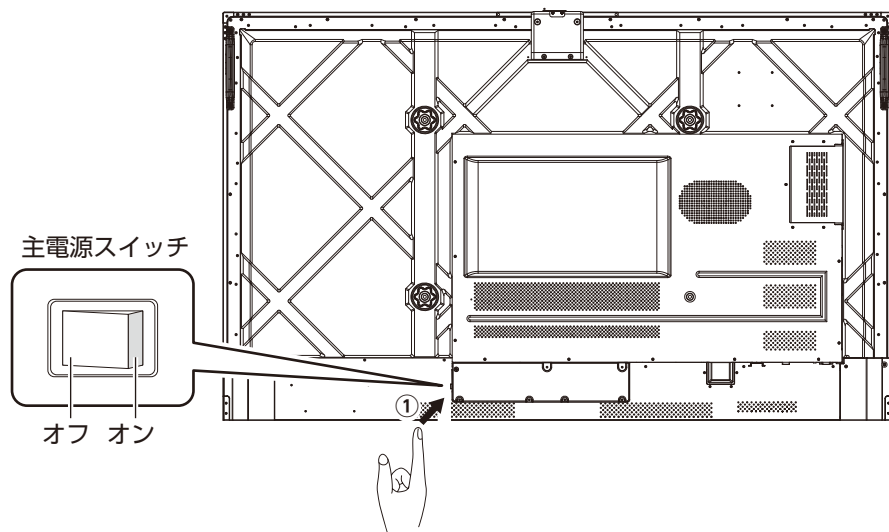
お願い

電源コードは、必ず付属のケーブルクランプで固定してください。固定するときは、電源コードの端子部分に力が加わらないようにしてください。また電源コードを無理に曲げないようにしてください。



5. 主電源スイッチをオンにする

本機の電源を入れてから、コンピューターや映像機器の主電源を入れる。



商標・ライセンスについて

DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

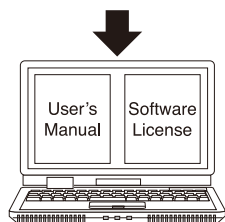
MultiSync、Brain Board はシャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。



詳しい説明は、当社 Web サイトに掲載している「取扱説明書」をご覧ください。
ソフトウェアのライセンスについても当社 Web サイトから確認できます。

[Web サイト] https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/dp/man_dim/index.html



本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

地球環境保全と資源の有効活用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。
詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「製品リサイクルのご案内」について

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html>

個人情報の初期化

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。廃棄・譲渡する際には、[工場出荷時の設定の復元]をおこない、設定の初期化をしてください。

ご使用方法についてのご相談

お願い

部署名、電話番号などについては変更になることがありますのでご了承ください。

最新情報につきましては、当社ホームページにてご確認ください。

当社ディスプレイの使用方法、機能、性能、パソコンとの接続などについての疑問は、「取扱説明書」をご確認いただくか、下記の技術相談窓口へお問い合わせください。

また、インターネットホームページでも情報を公開しております。

相談窓口

お客様相談窓口	NEC モニター・インフォメーションセンター
電話番号	0120-975-380（フリーコール）
受付時間	月～金曜日 9:00～18:00 (土・日・祝祭日は休ませていただきます。また、これ以外の当社休日につきましても休ませていただきますので、ご了承ください。)

NEC ディスプレイ インターネットホームページ

NEC ディスプレイについての説明、新製品情報など

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/>



保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口
NEC ビジネス PC 修理受付センター
フリーコール：0120-00-8283
携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211（通話料お客様負担）
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の所定休日 とさせていただきますので、ご了承ください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所（付近の目標など）
- 電話番号
- 品 名：マルチシンク液晶ディスプレイ
- 型 名：LCD-CB653/LCD-CB753
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 購入年月日または使用年数

